



村山 悟郎

1983年、東京生まれ。アーティスト。博士(美術)。絵画を学び、生命システムや科学哲学を理論的背景として、人間の制作行為(ポイエーシス)の時間性や創発性を探求している。代表作「織物絵画」に見られるように、自己組織的なプロセスやパターンを、絵画やドローイングをとおして表現している。また近年は科学者とのコラボレーションによって、AIのパターン認識/生成や、人間のAIにたいする感性的理解を探るなど、表現領域を拡張しつづけている。

2010年、shiseido art egg賞を受賞。2010-11年、ロンドン芸術大学チェルシーカレッジ MAファインアートコース(交換留学)、2015年、東京芸術大学美術研究科博士後期課程美術専攻油画(壁画)研究領域修了。2015-17年、文化庁新進芸術家海外研修員としてウィーンにて滞在制作(ウィーン大学間文化哲学研究室客員研究員)。2024年現在、東京大学現代思想コース客員准教授、武蔵野美術大学映像学科・東北芸術工科大学大学院・非常勤講師。

受賞

2012年

上野芸友賞(東京芸術大学)

2011年

展覧会ドラフト2011 入選(京都芸術センター)

2010年

shiseido art egg 賞(資生堂ギャラリー)

2009年

O氏記念賞(東京芸術大学)

2006年

久米桂一郎奨学金(東京芸術大学)

主な個展

2024年

「Data Baroque データのバロック」Takuro Someya Contemporary Art、東京

2022年

「Generative Islander」建築工房おおやま、直島、香川

2021年

「ダイナミックな支持体」西武渋谷、東京

「多の絵画」THE POOL、広島

2020年

「Painting Folding」Takuro Someya Contemporary Art、東京

2018年

「The museum of plastic nation」AISHONANZUKA、香港

「Emergence of Order」大和日英ジャパンハウス、イギリス

2017年

「座って見るために、画像を解除する」G/P Gallery、東京

2016年

「シミュレーションナル・ポイエーシス」Spektakel、オーストリア

2015年

「resolutional perspective」ギャラリーBlanka(名古屋) & HIGURE 17-15 cas、東京

「監獄のファンタジー」小金井アートスポット シャトー2F、東京

2013年

「the Coupling of second-order」HAGISO、東京

2011年

「成層圏vol.6 私のゆくえ 村山悟郎」ギャラリーαM、東京

2010年

シセイドウアートエッグ「絵画的主体の再魔術化」資生堂ギャラリー、東京

主なグループ展

Takuro Someya Contemporary Art



2024年

「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2024」新潟
「カンヴァスの同伴者たち 高橋龍太郎コレクション」山形美術館、山形
「記憶ーリメンブランクス: 現代写真・映像の表現から」東京都写真美術館、東京

2023年

「GO FOR KOGEI 2023」富山市、富山
「MEET YOUR ART FAIR 2023」寺田倉庫G1・G3ビル、東京

2022年

「FUJI TEXTILE WEEK 2022」富士吉田市下吉田本町通り周辺、山梨
「岡崎乾二郎、ハーム・ファン・デン・ドーベル、村山悟郎、坂本紬野子」Takuro Someya Contemporary Art、東京
「ICC アニュアル 2022 生命的なものたち」NTTインターコミュニケーション・センター (ICC)、東京
「村山悟郎 × 井村一登 <重複するイメージ>」アートフロントギャラリー、東京
「瀬戸内国際芸術祭」男木島、香川
「Drawings – Plurality 複数性へと向かうドローイング〈記号、有機体、機械〉」PARCO Museum TOKYO、東京

2021年

「パルナソスの池『池袋モンパルナス2.1 -水脈を巡って-』」ターナーギャラリー・旧春日部洋アトリエ・WACCA池袋・コ本や honkbooks、東京
「ROKKO MEETS ART 芸術散歩2021」旧パルナツソスの休憩小屋、神戸

2020年

「-Inside the Collector's Vault, vol.1-解き放たれたコレクション」(高橋龍太郎コレクション)、WHAT [寺田倉庫]、東京
「池袋モンパルナス2.0」ターナーギャラリー、東京
「余白/Marginaria キュレーション: 布施琳太郎」snow contemporary、東京

2019年

「L'homme qui marche Verkörperung des Sperrigen」クンストハレ ビーレフェルト、ドイツ
「The Extended Mind」Talbot Rice Gallery、スコットランド
「あいちトリエンナーレ2019 情の時代」愛知県美術館、愛知
「Art in Country of Tokyo 2019」東久留米市、東京
「Drawing:Manner | 岡崎乾二郎、大山エンリコイサム、川人綾、牧口英樹、村山悟郎、ラファエル・ローゼンダール」Takuro Someya Contemporary Art、東京
「Between figure and contour [ドゥルーズ/ガタリ・アジア国際会議 東京]」3331 Arts Chiyoda、東京。
「瀬戸内国際芸術祭」男木島、香川
「21st Domani 明日展」国立新美術館、東京

2018年

「NEWS 2018 —東京芸術大学油画新任教員展」Yuga Gallery、東京
「art organization "CANCER" THE MECHANISM OF RESEMBLING」EUKARYOTE、東京

2017年

「なまの記号たち -ポートレイトの現在形-」小金井アートスポット シャトー2F、東京
「MUSAO- Museum astray Ottakring」MASC FOUNDATION、ウィーン
「藝「大」コレクション パンドラの箱が開いた！」東京芸術大学美術館、東京

2016年

「PARALLEL」Alte Post、ウィーン
「E!x: 創造する相同」Nefrock Lab Ookayama、東京

2014年

「東京芸術大学 大学院美術研究科 博士審査展」東京芸術大学美術館、東京
「Identity X -fusion of memory ~ memory for the future-」Nichido Contemporary Art、東京

2013年

「VOCA展2013 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」上野の森美術館、東京
「"TRICK-DIMENSION" Curated by DAISUKE OHBA」TOLOT: heuristic SHINONOME、東京
「アクティング アウト オブ ナッシングネス」大和日英基金・ジャパンハウス、ロンドン



「"玉川上水の件/Case01.Tamagawa-josui" 第三会 (加藤翼 + 川田淳 + 村山悟郎)」22:00画廊、東京
「生成のヴィジュアル - 触発のつらなり」Takuro Someya Contemporary Art、千葉

2012年

「ヒロシマオー ヒロシマフクシマ」旧日本銀行広島支店、広島

「アートアワードトーキョー丸の内 2012」行幸地下ギャラリー、東京

「SIDE CORE - 日本美術と「ストリートの感性」-」BA-TSU ART Gallery、東京

『世界と孤独』vol.3 「"私"のあらわれ- 小沢裕子×村山悟郎」キュレーター: 袴田京太郎、日本橋高島屋 美術画廊X、東京

「モンブラン ヤングアーティストパトロネージ インジャパン 2012」モンブラン銀座本店、東京

「TRANS ARTS TOKYO "Open Lab"」旧東京電機大学、東京

2011年

「TRANS COMPLEX - 情報技術時代の絵画」京都芸術センター、京都 / AISHO MIURA ARTS、東京

2009年

「MOTコレクション・MOTで見る夢」東京都現代美術館、東京

「Sticky Sloppy Lumpy」TURNER GALLERY、東京